



東京都立立川国際中等教育学校

Tokyo Metropolitan Tachikawa Kokusai
Secondary Education School

2026



生徒インタビュー ～立国LEADERプログラムを受けて～

立川国際の探究学習、「立国LEADERプログラム」がスタートして1年。

プログラムを受けている生徒（インタビュー当時、4年生）と副校長との対談を通し、具体的な内容や生徒の感想や考えなどをききました。

副校長：立川国際に入学する前、立川国際で探究学習やりますよってという情報はなかった。その前提で立川国際を受験しようと思ったきっかけは何か？

生徒Mくん：幼い頃から「世界に出て活動したい」と考えていました。小学生の時は政治家になるのが夢で、世界の人達と色々なことを話し合っていく上で一番大事な力って何だろう、と考えた時に、やはり英語だなと気づきました。だからこそ5年生（高校2年生）でのオーストラリア研修など英語に関わる独自のプログラムがある立川国際に興味を持ちました。また学校説明会に参加した時に、東大を目指している当時の生徒達が「学び合い」のグループをつくり、集まって問題を出し合ったりしていることを知りました。生徒達の自主性というか自律的に学ぶ姿勢があるところにも感銘を受けました。

副校長：実際に入学して4年経ったけど、入ってみてどうですか？

生徒Mくん：立川国際にはいろんな生徒がいます。例えば哲学的な話をすると、面白いと感じる人も多いと思うのですが、僕の友人達はそういう話も一緒にしてくれます。また探究も、それぞれ自分の研究していることにとても興味を持ち熱心に取り組んでいます。そういうことから、学びに対してとても前向きな人があるって感じます。

副校長：そういう環境が君にとってプラスに働いているのかな。そしたら、あとの2年は、どんな風に過ごしていきたい？

生徒Mくん：探究学習を通して、みんなそれぞれに打ち込んでいるものがあるのだと知りました。例えばある人は文化的なことに造詣が深いことなどを知ることができました。これからは他の方々の打ち込んでいることや得意なことを、もっと吸収できるようにしていきたいと思います。

副校長：そういう学ぶ姿勢でもともと持てるものじゃない気がするんだよね。新しいことがあったら学ぼうって、すぐくエネルギーがいると思う。勉強と両立するってすごく大変なんじゃないかな。学ぼうと思うエネルギーはどこから？

生徒Mくん：普段の授業は、考えるための手段として学ぶと考えています。例えば、科学部（現在は科学研究部、自然探究部）の活動で行った東京科学大学での発表の時に、大学院の先生から「電磁気の働きを経済の流動モデ

ルに置き換える話」をしていただきました。そのように物理の中で完結するとは限らず、一つの学びが、他の分野から見ると意外な、色々なことに活かせるなっていうところを見つけるのがとても楽しいです。新しいものを学んでみようという気持ちにいつもなります。

～立国LEADERプログラムと科学部
（現在は科学研究部、自然探究部）での学び～

副校長：授業としての探究活動と、科学部の活動は連動をしているね。まず連動する前に取り組んでいた授業の感想やイメージを聞かせてもらえるかな。

生徒Mくん：私は個人探究を選びました。個人探究ではメンターが付いて、相談しながら進めていきます。このメンターが学校の先生で、親近感をもって話すことができて、探究活動に活かされたと思います。また探究の特性として、雰囲気や進め方が通常の授業と全然違うと実感しました。授業だと受け身で自分の意見を考える余裕がないことが多いけれど、探究は常に話がポンポン回ってきて、必ず自分の意見を持つことが求められます。

副校長：2年前に本校では個人探究を導入した。この個人探究では、第一にコミュニケーション、会話をする力をつけることがテーマでした。実際にやってみて、どうだったかな。

生徒Mくん：最初はテーマも曖昧で、調べていることもバラバラ、無意識に難しい言葉を使って解説してしまったりなど、分かりづらい表現をしていました。だけど、それでは周りの人達は「何言ってるの?」という顔をしていて、「あ、これでは伝わらないな。」と思いました。そこで伝え方を工夫していかなければいけない、ということに気付けたことは大きかったです。

副校長：ある種強制で、個人で意見を求められるっていう方が、やっぱりそういうところは開花する可能性は高いと思うかな。

生徒Mくん：そうですね。このゼミ型の授業は本質的なところを考えると意味で大事だと僕は思います。

副校長：その一方でリーダープログラムと並行して取り組んだ科学部どうだったかな？

生徒Mくん：東京科学大学の猪原先生のご支援は、僕が取り組んだ研究の基本になりました。

手法として使用した多変量解析を最初に教えてくれました。はじめは方向性の違う都市研究をやろうと思っていたのですが、先生のアドバイスから、関数という形で都市を捉えるという方針が決まりました。また大学での発表では、自分の研究に欠落している部分に目を向けることができました。

副校長：科学部の活動は月1～2回の活動で、話すことがメインだったけど、どうだったかな。

生徒Mくん：たまにしかないからこそ、その間にデータが集められ、説明内容も考えることができて、かえってよかったと思います。また話をするだけでも、研究する上で大事な経験になると思います。頭の中でまとまっていなくても、実は論理的に矛盾をきたしているみたいなことは往々にしてあります。だからこそ話し、説明していく中で自分の研究に活かそうなものを見つけることができました。

～受検を考えている児童のみんなへのメッセージ～

副校長：これから受検を考える児童にとって、立川国際環境はどうか？

生徒Mくん：海外と関わる機会も多く、探究学習の環境がしっかりと整備されていて、様々な刺激を受けることができると思います。

副校長：来年度は海外大学進学や海外での発表を視野に入れた論文やポスターを英文で書くみたいな活動もスタートする。また石川県、福島県、滋賀県、大阪府、熊本県の高校と立川国際6校で連携もスタートする。もし、君が1年生でこの活動や連携が経験できるとしたら、どうかな。

生徒Mくん：僕はやりたいです。（笑）他の高校と交流する上では行動力も必要になると思います。また様々な交流ができることは、僕のような探究をしたい人にとっては楽しいと思います。

副校長：立川国際を目指そうと思っている児童に向けてメッセージをください。

生徒Mくん：僕は自分の好きなことや自分の意見を共有できるような友人を見つけることができました。皆さんも自分の考えを隠さずに、自分のやりたいことを持って立川国際に来てください。

副校長：立国LEADERプログラム探究学習、君の高校人生においてどんな影響があったかな

生徒Mくん：好きなことを探究するきっかけをもらえました。

立国LEADERプログラム

～「Tokyo-IBL ハイスクール」の認定～

「総合的な学習の時間」と「総合的な探究の時間」を中心とした12年間の探究プログラムを通じて、国際的なリーダーになるための土台を形成します。

立国 GRAND DESIGN



～個人探究発表～



～企業へのプレゼン～

理数探究
(学術的探究教育)

社会課題探究

地域提案型探究
(実学的探究教育)

立国
リベラルアーツ

「文系・理系」という学問的区分にとらわれず、領域横断的な知識力と発想力を習得する教育カリキュラム

立国
ランゲージ・
ラーニング
プログラム

「送り出し」「受け入れ」「共有」を柱に、校内・外で「学問×探究×実践」する教育カリキュラム

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 4・5年 | 自身の興味関心に沿った個人探究にチャレンジする。 |
| 3年 | 教育活動と探究活動を基に自身のRQ（リサーチクエスト）及び仮説を設定する。 |
| 2年 | 職場体験を活用して、企業課題の解決にチャレンジする。 |
| 1年 | 調べ学習から探究学習へ思考の変換を促す。 |

言語教育

(英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語)

学びに向かう力、人間性等

- ① 思考のプロセスを客観的に捉える力 (メタ認知)
- ② 多様な人々と協働する力
- ③ 人や社会に貢献する行動力
- ④ 自立した学習者となるための自己を管理する力
- ⑤ 協働的に学習を進める力
- ⑥ 社会に寄与し貢献する力
- ⑦ 困難な課題に挑戦する力
- ⑧ 自己の生き方を考えていくための力
- ⑨ 他者の意見を傾聴する力

知識及び技能

- ① 教科・領域における幅広い知識・技能を習得し活用する力
- ② 概念の理解と技能の熟達を支える言語を習得し活用する力
- ③ 論理的に考えるための方法を習得し活用する力
- ④ 事象を数理的に分析し統計的に表現する方法を習得し活用する力
- ⑤ 各教科等を相互に関連を付けする技能を習得し活用する力
- ⑥ 図書館ネットワークを活用し多角的に情報を収集する力

思考力、判断力、表現力等

- ① 批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、考える力
- ② 知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③ 日本語と英語を活用して発信する力
- ④ 教科等横断的な情報を活用する力
- ⑤ 問題発見及び解決する力
- ⑥ ICT機器を活用して他者へ効果的に伝達する力

教科活動



グローバルに
考える
キャリア教育・
進路指導



グローバル
地球規模の視野と地域の
視点で考え行動すること

学校行事





～カンボジア・ボランティア巡検～



Think Globally, Act Locally ～立国の国際教育～

国際教育スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
April	May	June	July	August	September
●日本語支援開始			●東京グローバルフレンドシッププログラム受け入れ	●米国サイエンス・アカデミー ●次世代リーダー育成道場B コース出発(翌年6月帰国)	●国際交流セミナー ●スペイン語同好会活動開始 (3月までに10回程度)

今年からの新プログラム！
アメリカでSTEAM教育を
受けます！

立川国際の国際教育

本校の国際教育は、スクールミッションである“Think Globally, Act Locally”のもと、国際社会に貢献できるリーダーの育成を目指しています。世界の多様な価値観を理解し、異文化交流を深めることで、自らの視野を広げ、社会に積極的に貢献できる力を養います。そのために、私たちは「受け入れ」「送り出し」「共有」の3つの柱を大切にしています。



受け入れ —— 多様な文化に触れる機会

本校では、通常の学校生活の中でも海外と繋がる機会がたくさんあります。海外からの短期留学生の受け入れや、海外の学校とのオンラインでの交流等の「受け入れ」プログラムの充実が、異なる言語や文化を持つ仲間と共に学び、互いに刺激を受けながら成長できる環境を実現しているのです。

東京都の留学生受け入れ事業「東京グローバルフレンドシッププログラム」では、希望する本校生徒の家庭での約1週間のホームステイも実施しており、より深い異文化交流を体験することができます。

「受け入れ」の大切なプログラムの一つとして、帰国生等への日本語支援も実施しています。中学に入学するまで海外で過ごしてきた生徒に対して、日本語のサポートだけではなく、日本の学校生活を安心して送っていけるように、該当する生徒一人一人に寄り添いながらサポートを行なっています。



送り出し —— 世界へ挑戦するチャンス

希望する生徒には、1週間程度の短期の海外研修や、東京都の留学事業「次世代リーダー育成道場」といった長期留学のチャンスも用意されています。5年生では学年全員でオーストラリアに約1週間の研修旅行に行きます。

本校独自の海外研修としては、現在「カンボジア・ボランティア巡検」、「シンガポールグローバルリーダー研修」、「米国サイエンス・アカデミー」という3つの特別プログラムを実施しています。希望する生徒は、これらの研修を通じて、実際に海外で異文化理解を深めたり、グローバルな環境で主体的に学ぶ力を養うことができます。いずれの研修

も事前学習、現地での研修、事後学習、成果還元という長期に渡るサイクルに則って行います。

ドイツ語、フランス語、中国語などの第二外国語の学習（希望者のみ）、スペイン語同好会、海外大学進学支援など、グローバル社会で生きていく上で役立つプログラムは他にもたくさんあります。



共有 —— 学びを広げ、繋げる

本校の国際教育は、各教科や各分掌とも連携し、多岐に渡って行われています。留学や海外研修で得た経験を他の生徒とも共有し、学校全体の学びへとつなげる場を設けています。生徒自身の伝える力やリーダーシップも鍛えられていきます。

「国際交流セミナー」では、海外研修等で学んだ成果を全校生徒の前で発表し、研修で得た気づきや視点を学校全体で共有します。国際交流・広報委員の生徒を中心とした附属小学校での絵本読み聞かせボランティア活動では、国際理解や言語学習の楽しさを小学生に伝えています。

こうした活動を通して、中高生が小学生の「ロールモデル」となることができるのが、小中高一貫教育校としての本校の大きな特色です。先輩が後輩へ学びを伝え、国際的な視点を共有することで、より一層深い学びの連鎖が生まれています。



グローバル社会への第一歩をここから

世界の多様性を知り、身近な地域社会を見つめ直し、自分自身と向き合い可能性を広げ深めていく…。立川国際で、広い世界へ繋がる第一歩を踏み出しませんか？



国際部主任



～シンガポールグローバルリーダー研修～



「Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier20」、「AIを活用した英語教育の充実事業」の指定

次代を担うグローバル・リーダー育成に向けた取組を支援するため、東京都教育委員会が約200校ある都立高等学校及び都立中等教育学校の中から選定しています。指定校は外国語によるコミュニケーション能力、創造的・論理的思考力、多文化共生の精神など、将来、国際社会の様々な分野・組織で活躍できるグローバル人材の育成に資する取組を一層推進していきます。

※世界情勢にあわせて変更の可能性もあります。

10月

October

11月

November

12月

December

- カンボジア・ボランティア巡検
- 国際教養講座
- 海外大学進学基礎講座
- 海外大学進学体験講座
- 東京グローバルフレンドシッププログラム受け入れ

1月

January

- 次世代リーダー育成道場Aコース出発(翌年11月帰国)

2024年度はAコース・Bコース
合わせて15名が
次世代リーダーに選ばれました。

2月

February

- グローバル・アカデミー

3月

March

- シンガポールグローバルリーダー研修

立川国際といえば「英語」で、授業が難しく、ついていくことが出来るかと不安に思う人がいると思います。しかし、私は立国の英語の授業で「基礎」と「実際に使える英語」を同時に学ぶことができました。クラスはレベル別で分かれていますので、安心して基礎から学ぶことができました。同時に、1年生からスピーキングコンテストでスピーチのコツや校外学習で日常会話を楽しく学ぶことができました。また、帰国生が多いという特徴より、学校生活の中で英語を聞く機会が多いので、自然と実際に使える英語を身につけることが出来ました。

Let's learn English in Tachikoku!



2年 竹内 愛

Hello! I would like to introduce you to Tachikawa Kokusai's English y (advanced) classes!

We have English classes 5 times a week here and each class is full of discoveries and excitement. In one class, we read a book, write essays and have discussions about it. In the discussions, it is really interesting because all the students share their creative ideas; we get to learn more deeply about the content and know more about each other. Furthermore, in another class, we work on a textbook called Ted Talks and acquire more knowledge about the social issues. Lastly, all the teachers are really amusing and supportive. They motivate us to keep on trying and overcome anything. I am lucky and grateful that I can learn from them.

Why don't you come study with us and open the door that connects to your fascinating, dazzling, and captivating future?



2年 小川 祐加



ニュージーランドからの留学生。
剣道に初挑戦



4年生と授業体験!
一緒にゲームをして、交流

I'm impressed by how students at Tachikawa Kokusai are able to discuss difficult topics, such as science and social issues, in English. Language education can provide a great environment for students to practice the critical thinking skills and creativity that will let them thrive in a changing world.



外国人指導者 Aishlin Cortell

立国リベラルアーツ

「文系・理系」にとらわれない、教科横断的なカリキュラム

英語

英語での実践的なコミュニケーション能力の伸長を図り、実用的な英語力を身に付けます。外国人指導者とのチームティーチングは一般的な公立学校のカリキュラムより倍以上多くあり、卒業時まで英語検定準1級取得を目指した指導を行います。1年生から週5回の英語授業が行われ、たくさん英語に触れることで自然と英語が身につききます。前期生は、毎年の英語発表会でスピーチをし、発信力やプレゼンテーション能力を養います。また、3年生では、文化祭での英語劇を通して表現力も身に付けます。後期課程では、5年生で週1回のオンライン英会話をを行い、英語での実践的なコミュニケーション力を養います。夏期講習では、外国人指導者による作文やリスニングの授業など、個別のニーズに応じた講座を開講し、生徒の学びをサポートします。立川国際で実践的な英語力を養いたい意欲的な生徒を期待しています。

国語科は、文学作品や評論などを幅広く読むことで、読解法や歴史や文化に対する幅広い知的関心の育成を図っています。授業では、論理的なつながりや主張と根拠を正確に捉えながら読んだり、登場人物の心情を捉えたりすることに加え、グループで学習したことやそこから考えた自身の考えなどをスピーチすることでインプットとアウトプットをバランスよく取り入れた学習を行っています。また、前期課程から百人一首大会等の体験活動や座学で古典の内容の先取りをすることで後期課程になっても学習に躓かないようにしています。中高一貫教育校スピーチ大会の出場、電子書籍会社と連携した学習、作文コンクール等の応募、長期休業中の文学散歩など様々なところで生徒の皆さんには活躍できる場があります。そんな学び環境の整った立国で充実した学びを共にしていきましょう！

国語

社会

地歴公民科は、国際社会で活躍するための力の育成に向け、多面的・多角的な学びや体験的な学びの充実を図っています。前期課程では、地理・歴史・公民それぞれの分野について、体験的な学びを通し、基礎的な知識を養います。またグループ学習などを通し、多面的・多角的に考察できる力の育成を図ります。後期課程では、前期課程で身に付けた知識・能力をより一層深めていきます。そして本校では5年生までは文系・理系関係なく、歴史・地理・公民を学ぶカリキュラムとなっています。これらを通し、国際社会で様々な背景を持った人々と協働して活躍できる素養を養っています。また他教科との連携した学び、発表・レポート作成、東京証券取引場、裁判所、私企業の見学など、体験的に学べる取り組みを行っています。是非とも立川国際で、一緒に学びましょう！

皆さんは、どのような自然観を育んでいますか？理科は、自然科学、サイエンスという学問の基礎を学ぶ教科です。さまざまな自然現象を観察することから始まり、そのしくみを理解し、その背後にある法則を探究することが自然科学の目的です。われわれ人間は、知的好奇心を根拠とした探究心によって、自然への知識と理解を共有し、自然観を育ててきたと言えます。それらを応用して人々の生活を豊かにする科学技術、テクノロジーが次々に生み出されてきました。現代文明を支える基盤には自然科学の学びがあり、未来を拓く源泉でもあります。本校の理科は、皆さんの知的好奇心を育てるために、体験的で協同的な学びを重視します。本物を観察し、仲間との対話を重ね、探究力を向上させ、豊かな感性と確かな知性を涵養していきます。

理科

数学

6年間を通じて、数学を学習することで、論理的に物事を考え問題を解決する力を養い、社会で起こるいろいろな問題に対応し、考察することで、自らの考えで判断し、解決する能力を身につけることを目標としています。

授業では、講義に加えて、公式や定理を身につけ、基礎的な演習を行うことで使いこなし、様々な問題に主体的に取り組み、深く考え、記述できる表現力を養います。中高一貫教育の特性を生かし、前期課程のうちに後期課程で学ぶ内容も発展的に学び、一人一人の論理的思考力を高めます。生徒の状況に合わせて習熟度別少人数クラス編成により、きめ細かい指導を行い、基礎の確実な定着と応用力向上を図ります。数学は数楽である。立川国際で共に数学の世界を楽しみましょう。



- 数学と外国語（英語）では、習熟度別少人数クラス編成によりきめ細かい指導を受けられます。
- 様々な授業で、ペアワークやグループワークを通して意見交換が活発に行われています。
- 漢字検定やビブリオバトルも実施します。

1年生の時間割例

	月	火	水	木	金
1	数学	歴史	理科	数学	生地
2	体育	音楽	数学	家庭	体育
3	国語	国語	英語	英語	数学
4	物化	体育	地理	国語	英語
5	歴史	英語	—	生地	技術
6	英語	道徳	—	芸術	国語
7	美術	学活	—	総合	地理

立川国際では、週に5回英語を学びます。

前期生は水曜日の午後に授業がありません。勉強したことの復習や興味・関心もったことに取り組むことができます。

給食は出来立てを食べることができます。後期生になると、お弁当になり、購買のパンや軽食を購入することができます。



前期生 インタビュー



立川国際を基盤に海外への第一歩を

私は海外と触れ合う機会が多い立川国際に惹かれ入学を決意しました。クラスに海外経験がある同級生がいるのはもちろん留学生も来てくれるので、多様な文化に触れることができ、新鮮な刺激を受けることができます。

授業は、他の学校よりも一歩踏み込んだ発展的な内容を取り扱ってくれます。特に国語の古典では、上級生で学習することも体系的に教えてくれます。教わったこと

を演習したり、それを基に探究したりする時間もあるので得た知識を着実に自分のものにできます。また、ライバルとなって共に勉強を頑張れる友人もいて充実した環境が整っています。

私は将来、国境を越えた人間関係を築くのが夢です。そのため多様性があふれる立国で多くのことに挑戦し、世界に通用する人になりたいと考えています。

後期生 インタビュー

私が立川国際を志望したのはやはり、その国際の文字に惹かれたからです。グローバル化が進んでゆく中で国際的な学びをできる特徴をとても魅力的に感じました。日々の英語の授業などで十分に立川国際にいることの恩恵を受けることができています。一方で他の重要な教科もICT機器などを用いた多様な形態の授業は私の知的好

奇心をくすぐるものばかりです。また、中高一貫の特徴を生かし、早くから受験を意識した授業が展開されていて、長い時間をかけて自らの進路選択と向き合うことができます。現在は志望する大学の合格を目標に、日々先生や仲間達と共に勉学に励んでいます。



立国生活：将来への最高の準備期間

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36				
1年	国語 (140)			社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (45)		美術 (45)		体育 (105)		技術・ 家庭 (70)		英語 (175)			探究 総合的 時間 (50)		道徳 (35)		学活 (35)												
2年	国語 (140)			社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (35)		美術 (35)		体育 (105)		技術・ 家庭 (70)		英語 (175)			探究 総合的 時間 (70)		道徳 (35)		学活 (35)												
3年	国語 (140)			社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (35)		美術 (35)		体育 (105)		技術・ 家庭 (35)		英語 (210)			探究 総合的 時間 (70)		道徳 (35)		学活 (35)												
4年	現代の 国語 (2)		言語文化 (3)		地理 総合 (2)		歴史 総合 (2)		数学Ⅰ (3)		数学Ⅱ (1)		数学A (2)		化学 基礎 (2)		生物 基礎 (3)		体育 (2)		保健 (1)		芸術Ⅰ (2)		英語 コミュニ ケーション Ⅰ (3)		論理・ 表現Ⅰ (2)		情報Ⅰ (2)		探究 総合的 時間 (1)		L H R (1)		【自由選択】 第二外国語 (2)					
5年	論理 国語 (2)		古典探究 (3)		必修選択 (3) 日本史探究 世界史探究		公共 (2)		数学Ⅱ (2)		数学ⅢⅡ (1)		数学B (2)		数学 C (1)		物理基礎 (3)		化学 (2)		体育 (2)		保健 (1)		英語 コミュニ ケーションⅡ (4)		論理・ 表現Ⅱ (2)		家庭 基礎 (2)		探究 総合的 時間 (1)		L H R (1)		【自由選択】 海外大学 進学対策講座 Academic English (2)					
6年	論理 国語 (1)	文学 国語 (2)		政治・ 経済 (2)		体育 (3)		英語コミュニ ケーションⅢ (4)				論理・ 表現Ⅲ (2)		【選択】(10～20) 国語表現演習 古典探究演習 地理探究 日本史探究 世界史探究 地理探究演習 公共演習 政治・経済演習 数学α演習 数学β演習 数学Ⅲ 数学γ演習 物理 生物 化学基礎演習 化学発展演習 生物基礎演習 体育演習 英語コミュⅠ演習 情報探究 海外大学進学対策講座 その他																							探究 総合的 時間 (1)	L H R (1)		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36				

※第4学年の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は年間で合計「4単位」になります。
 ※第5学年の「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」は年間で合計「3単位」になります。
 ※第5学年の「数学B」「数学C」は年間で合計「3単位」になります。

※第4学年の「第二外国語」は、フランス語、ドイツ語、中国語から選択します。
 ※教育課程は変更になる場合があります。

グローバルリーダーの育成

教育目標

国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する

Tachikoku Grand Design

Road to Global Citizens ~ Think Globally, Act Locally ~

立志の精神

国際社会に生きていく人としての自覚をもち、自ら志を立て、未来を切り開いていく力を育成する。

Ambition

Resilience

教育理念

感動の共有

学校教育のあらゆる場において、生徒の主体性を重んじ、達成感、連帯感を育成する。

Team Working

共生への行動

国際社会にあって、自己の考えを明確にもち表現できる能力を養うとともに異なる文化を理解し、尊重する態度を育成する。

Global Contribution

国際の方向性① グローバルな日常

- ◆ Global Education Network 20 指定校
- ◆ 東京体験スクール実施校
- ◆ 海外姉妹校との交流
- ◆ 留学生（高校生・大学生）との交流
- ◆ 自宅がホームステイ先に

国際の方向性② 確かな英語力

- ◆ 英語の授業数の増加・オンライン英会話
- ◆ 英語発表会 (Speech, Discussion)、英語合宿
- ◆ 充実したネイティブ講師陣
- ◆ 大学入試対応英語力習得支援プログラム
CEFR・B2 を目指す

国際の方向性③ 高みへチャレンジ

- ◆ 次世代リーダー育成道場
- ◆ 立国独自の海外研修プログラム
- ◆ トビタテ！留学 JAPAN プログラム
- ◆ イングリッシュ・サマー・セミナー
- ◆ 第二外国語講座（仏語・独語・中国語）

「日常」から養える国際感覚と多様性

学級活動 特別活動

中高一貫の生徒会・三祭・部活動
認め合える仲間と自律心の育成
「世界」につなげる校外学習

チーム立国での 進路指導システム

難関大学への進路実現を
確かなものにする6年間の
全体進路指導計画

探究活動

思考力・判断力・表現力

SDGs 教育の推進
論文作成などの探究活動
長期休業中のゼミ形式講習
(立国ゼミ) など

外部人材 地域との連携

「地域の教育力」の活用
ボランティア・市民活動団体参加
職場体験、地域イベントの参加

教科教育

言語活動・理数教育

幅広い学びを実現する教育課程
基礎力を定着させる丁寧で分かる授業
難関大学入試に対応した学習支援

全学年対象の大学出張講義
国際理解講座
理数探究講話

立国キャリアガイダンス

「行ける大学ではなく、行きたい大学を目指す！」

フェーズ	BUILD		CHALLENGE		CREATE	
学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
目標	多種多様な職業を知る	各職業への理解を深める	現在の自分と卒業後の自分について考える	興味関心のある学問分野と卒業後の進路を関連させる	2年後の大学入試を意識して第一志望校を確定する	高みを目指し初志を貫く
データに基づく指導	学力推移調査 → 結果分析・面談 → 教科会で検討・教科指導に反映			模 試 → 結果分析・面談、ケース会議 → 教科会で検討・教科指導に反映		
豊富な講習	夏季講習 全学年実施 (R 6) 150 講座・延べ 4267 人受講 冬季講習 全学年実施 (R 6) 42 講座・延べ 577 人受講 春季講習 全学年実施 (R 6) 35 講座・延べ 1461 人受講 ※ その他、朝補習・朝講習、放課後講習、6 年生対象特別講座等学期中に実施				チューターのいる自習室の設置 平日 19 時 土曜・長期休業中 16 時 45 分まで	

合格実績

国公立 大学	令和 7 (2025) 年							令和 6 (2024) 年						
	進学者数 (12期生)			既卒	合格者数			進学者数 (11期生)			既卒	合格者数		
	総数	文系	理系		総数	文系	理系	総数	文系	理系		総数	文系	理系
東京大	6	3	3	1	6	3	3	5	3	2		5	3	2
東京科学大	1		1		1	1	1	2		2		2	2	2
一橋大	5	5			5	5		4	4			4	4	
山形大・医学部	1		1		1		1							
筑波大・医学部								1		1		1		1
岐阜大・医学部								1		1		1		1
高知大・医学部								1		1		1		1
北海道大	2	1	1	1	2	1	1							
東北大	1		1		1		1	1		1		1		1
名古屋大	1		1		1		1				1			
大阪大								2		2		2		2
神戸大	3	1	2		3	1	2							
九州大	1		1		1		1	1		1		1		1
筑波大	1		1	1	1		1	2	1	1	1	2	1	1
弘前大	1		1		1		1							
北見工業大	1		1		1		1							
群馬大								1		1		1		1
埼玉大								2	1	1		2	1	1
千葉大								1	1			1	1	
茨城大	1	1			1	1								
お茶の水女子大	1		1		1		1	3	2	1		3	2	1
電気通信大	1		1		1		1	1		1		1		1
東京外国語大	2	2			2	2		3	3			4	4	
東京学芸大	4	4			6	6		1	1			1	1	
東京農工大	1		1	2	1		1	3		3		3		3
新潟大	1	1			1	1								
富山大								1		1		1		1
金沢大								1	1			1	1	
山梨大								1		1	1	1		1
信州大	1		2		1		2	1	1	1	1	1	1	1
東京都立大	3	2	1		4	2	2	2	1	1		3	2	1
横浜国立大					1		1							
都留文科大					1	1								
総 計	39	20	20	5	44	23	22	41	18	23	4	43	20	23

私立 大学	令和7 (2025) 年						令和6 (2024) 年					
	進学者数(12期生)			合格者数			進学者数(11期生)			合格者数		
	総数	文系	理系	総数	文系	理系	総数	文系	理系	総数	文系	理系
早稲田大	9	8	1	31	24	7	10	8	2	31	24	7
慶應義塾大	4	4		17	13	4	4	3	1	16	9	7
上智大	2	1	1	14	12	2	6	6		28	25	3
国際基督教大							1	1		4	4	
東京理科大	1		1	17		17	1		1	18	1	17
学習院大				4	4		2	2		7	7	
明治大	7	7		36	22	14	2	1	1	36	23	13
青山学院大	4	4		15	14	1	2	2		13	11	2
立教大	5	4	1	20	17	3	2	2		30	26	4
中央大	2	2		22	20	2	9	6	3	38	30	8
法政大	3	1	2	19	10	9	5	5		31	28	3
成城大	2	2		2	2					6	6	
成蹊大	2	2		10	9	1	1		1	12	6	6
明治学院大	1	1		6	6		2	2		7	7	
國學院大				9	9		1	1		7	7	
武蔵大							1	1		6	6	
日本大	4	3	1	19	16	3	1		1	9	5	4
東洋大	4	4		19	15	4	2		2	27	17	10
駒澤大	2	2		13	12	1				2	2	
専修大				14	14		2	2		16	16	
杏林大	1		1	2		2	2		2	8		8
北里大	1		1	3		3				1		1
芝浦工業大	2		2	8		8	1		1	14		14
東京都市大				6		6				3		3
東京電機大				6		6				2		2
工学院大	2		2	5		5	2		2	8		8
順天堂大	1	1		2	1	1				1		1
津田塾大	3	3		5	5		2	2		8	6	2
東京女子大				1	1					1	1	
日本女子大				2	2		1		1	7	4	3
日本赤十字看護	1		1	3		3						
その他	11	6	5	86	51	35	12	10	2	78	43	35
総 計	74	55	19	416	279	137	74	54	20	475	308	167

卒業した先輩からのメッセージ

立川国際では、高い志と思いやりの心をもつ仲間、また寛容な先生方に恵まれ、様々なことに挑戦し、成長できました。先輩や後輩とも協力して体育祭を運営したこと、部活で辛い練習も仲間と乗り越えたこと、文化祭でやりたい出し物を先生に直談判したこと等々、青春と呼ぶにふさわしい思い出の詰まった 6 年間でした。

学業面では、文理を隔てず学べたことが、リベラルアーツを

掲げる東京大学を目指すきっかけとなり、先生方の手厚いサポートと、仲間の励ましのおかげで、塾に通わず合格できました。現在は弁護士を志しています。立川国際で培った自主性や協働力を糧に、多様な価値観が交錯する社会で深刻化する人権問題に取り組んでいきたいです。



前田 藍花 (東京大学大学院 法政治学専攻 在学)

立国では様々な形での国際交流が盛んに行われており、また学校行事や部活動も充実しています。中高時代に視野を広げる機会を多く持ったことも、勉強以外のことに一生懸命になる楽しい日々を過ごせたことも計り知れない価値があったと感じています。受験期においては、多くの先生方が生徒の不安な心の中に寄り添いつつ受験にも受験の先にもつながる学びを提供してくださいました。

現在私はレーザーを用いたプラズマの電界計測について研究しています。扱う学問こそ中高時代とは異なるものになりましたが、学んだことは研究生活の様々な場面で活かしていると日々感じています。6 年間で立国で過ごすことが出来たことは私にとって大きな財産です。



引法堂 莉彩 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 在学)



立川国際のスクールライフ



登校は8:20まで！

JR立川駅から徒歩20分と少し遠いですが、友達と待ち合わせをすればあっという間。

タブレットを活用して学びます！ロイロノートやスタディサプリも導入！



ペア・ワークやグループ・ワークで協働的な学びに取り組みます。



J'apprends le français.

Ich lerne Deutsch.

我，学习，汉语。

4年生で自由選択科目「第二外国語」を選択すると、週に1回、8・9時間目に学びます。

また明日！



登校
朝読書
朝学活

1限

2限

3限

4限

昼食
昼休み

5限

6限

7限

終学活

清掃

放課後

8:20

8:40 ~ 9:25

9:35 ~ 10:20

10:30 ~ 11:15

11:25 ~ 12:10

12:10 ~ 12:55

13:00 ~ 13:45

13:55 ~ 14:40

14:50 ~ 15:35

15:45 ~ 15:55

15:55 ~ 16:10

朝読書・朝学活 8:20

文庫や洋書などみんな読書に没頭します。



昼食 12:10 ~

前期生は給食。自校で調理員さんが作るおいしい給食が食べられます。生徒によるリクエストメニューや、ジュースが選べるメニューもあります。



ラーニング・コモンズで自習！自習室では卒業した先輩がチューターとして勉強を教えてくれて、進路の相談にのってくれます。



部活動にも取り組みます。

未来の立国生へ ～今年の卒業生からのメッセージ～



第12期生 斎藤 章太 さん（東京大学 進学）

僕が立国で1番魅力だと感じたのは、1学年160人の中に多様な生徒がいることです。入学前は海外に行ったことのなかった僕にとって、帰国子女の仲間たちの話はとても興味深く、聞くだけでも少し自分の世界が広がったような気がしました。また、留学生の受け入れなど外国から来た中高生との関わりをもつ機会も多く、ほかの学校ではできないような貴重な経験をさせてもらいました。立国の多くの人々は将来海外で活躍することを目標にしている人も多く、僕もその1人です。そんな目標を持つきっかけをつくってくれ、目標の実現に必要な能力を養う場を与えてくれた立国には本当に感謝しています。

第12期生 小林 直輝 さん（東京科学大学 進学）

立川国際では、小中高一貫教育校という特性を活かし、早い段階から大学以降の進路について考え、大学受験への対策を行うことができます。探究活動や、理系に進みたい人のための課外活動なども充実しており、生徒の進路の幅を広げてくれます。私は4、5年生の時に東京都教育委員会主催の「得意な才能を伸ばす教育（理数）」に参加し、科学の最先端や大学の研究室の研究現場を見学し、これは進路選択にも役立ちました。さらに、6年になるまで文理を大きく分けることのないリベラルアーツ教育により、文系理系という枠にとらわれない幅広い教養を与えてくれます。



第12期生 ハース 倖海明 さん（東京外国語大学 進学）

私はかなり無茶な受験をしました。それでも第一志望に合格できたのは、立国で得られた英語力の強化があったからです。入学後、英語はγクラスという帰国生を中心とした発展クラスに振り分けられました。ドイツの現地校に通っていた経験から一般的な生徒よりは英語に慣れていましたが、英語圏の帰国生には遠く及ばず、辛い思いもたくさんしました。しかし、なんとか食らいつき、着実に上達することができました。そして、次世代リーダー育成道場という都立高校生だけが利用できる長期留学プログラムに参加しました。事前研修が一年間あり、他の都立高校では最短でも高校3年生の時に帰国する方法しか選べません。しかし、立国では1年早くそのプログラムに申し込むことができます。おかげで、私は進路に不安を持たずに安心して留学することができました。立国に入学していなければ、今の私はありませんでした。

第12期生 和田 萌々花 さん（山形大学医学部医学科 進学）

私は立国でものすごく「ひと」に恵まれたと感じます。生徒の質問を楽しげに一緒に考えてくれる先生、自分の科目に対する愛が深い先生、ダメな私たちを叱り続けてくれる先生、たわいもない雑談にいつまでも付き合ってくれる先生、何も言わなければちゃんと見てくれている先生、課題解決能力が高い先輩、卒業後も気にかけてくれる先輩、何事にも必死に取り組む同級生、素直で前向きな後輩、応援してくれる後輩。こんなにも尊敬できて大好きだと思えるひとに何人も出会えたことが本当に幸せです。6年間、その方々と関わり合いながら私も自分自身の内面と深く向き合い、人間として強くなったと胸を張って言えます。



第12期生 川合 風花 さん（お茶の水女子大学 進学）

立川国際に入って1番よかったことは、素晴らしい仲間たち、先生方に出逢えたことです。立川国際には向上心がある人が沢山いて、そんな人たちと日々を過ごす中で、自分も頑張ろうという気持ちになります。私は一緒に頑張れる仲間のおかげで部活や委員会、三祭、勉強などを最後までやりきることができました。また先生方は、質問にとっても丁寧に答えてくれたり、生徒のやりたいことを支えてくれたりと、素敵な方ばかりです。私が推薦で数学科を受験したいと言ったときも、様々な問題を解かせてくれたりおすすめの参考書を教えてくれたりと、私のやりたいことを後押ししてくれました。立国で過ごした日々は私にとってかけがえのないものです。



都立立川国際中等教育学校 校長

横田 雅博

受験をお考えの皆様に向けて

これからの時代を生きていくみなさんには、あらゆる場所や状況においても、多様な人々と協働しながら社会の変化を乗り越え、自らの未来を切り拓いていく、グローバルな視点をもつ人になってほしいと願っています。

本校の教育目標は、「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」です。「学業を修める」とは、学習を通じて、ものの見方・考え方を獲得し、本質を見抜くための力を育成することです。「人格を陶冶する」とは、物事を正しく適切に判断し、常にその判断に基づいた言動ができるよう、心を鍛え磨くことです。

立川国際中等教育学校での6年間では、仲間とともに、知識を深め、多様な価値観に触れて、自ら行動する力を養っていきます。

立川国際中等教育学校での全ての経験が、必ずみなさんの可能性を広げます。



立川国際の校章の由来



地球を、鳥の羽にかたどった月桂樹で囲み、学校のイニシャルである「T」（立川）「K」（国際）を配しました。教育目標に基づき、国際社会に貢献できるリーダーとして、世界に羽ばたくことを期したものです。

Q & A

Q. 出願書類の配布はいつですか。

A. 「令和8年度募集案内」(願書・報告書など)の出願書類は令和7年11月下旬ごろに本校で配布予定となっています。詳細はホームページをご覧ください。

Q. 初年度費用を教えてください。

A. 以下の通りです。(※令和7年度分参照)

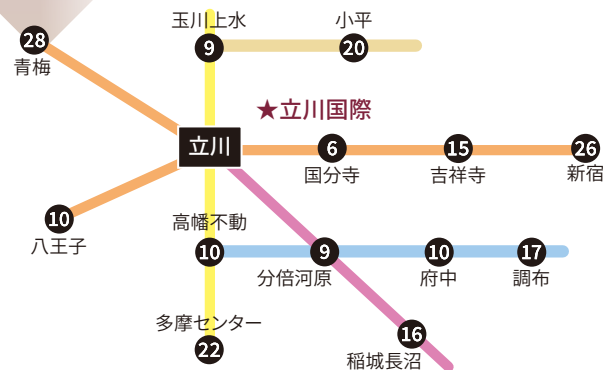
入学金・授業料	なし
学年積立金	約178,000円
給食費	東京都からの補助金対応
PTA会費(任意)	3,000円
その他制服等	約84,000円

Q. 授業公開日はいつですか。

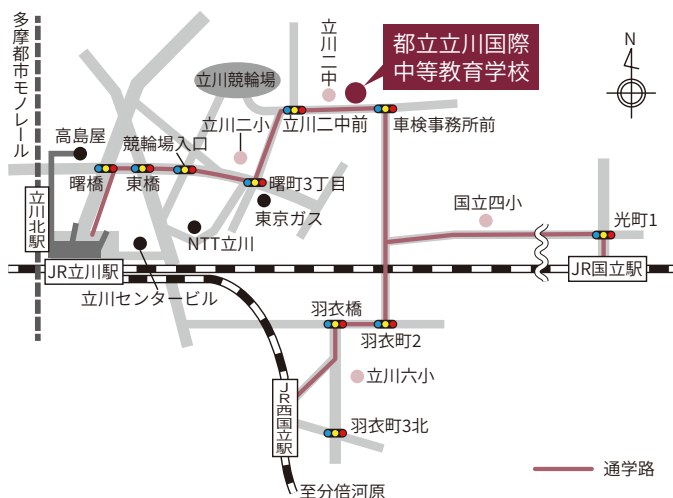
A. 授業公開日は
10月4日(土)、10月25日(土)、
2月14日(土)の予定です。
文化祭は
9月13日(土)、14日(日)で
一般公開をしております。
お越しになる場合は、事前
にホームページで詳細をご
確認ください。



アクセス



※JR立川駅北口・多摩都市モノレール立川北駅から徒歩20分
または、12番乗場 立川バス「北町」行き
「立川国際中等教育学校」下車(所要時間約12分)



募集要項

(参考) 令和6年度に実施した検査に関する概要です。

※令和8年度入学者に関する適性検査等の実施については、今後、東京都教育委員会による実施要綱の発表を受け、本校ホームページで正式にお知らせします。

	一般枠募集	海外帰国・在京外国人生徒枠募集
募集人員	4学級160人(海外帰国・在京外国人生徒枠30人を含む。)	
対象	令和7年3月に学校教育法に定める小学校又はこれに準ずる学校を卒業する見込みの者	〔日本国籍を有する者〕 令和7年3月末まで保護者に伴い連続して2年以上海外に在住しているか、連続して2年以上海外に在住した者が帰国後2年以内の者 〔外国籍を有する者〕 令和7年3月に小学校を卒業する見込みで入国後2年以内の者、または外国また日本国内において日本の義務教育相当の教育を受けた者
検査内容	適性検査Ⅰ・Ⅱ(各45分)	日本語または英語による作文・面接(パーソナルプレゼンテーションを含む)
出願受付	(入力期間) 令和6年12月19日(木)～ 令和7年1月16日(木)午後5時 (書類提出期間) 令和7年1月9日(木)～ 令和7年1月16日(木) 特定記録郵便	令和7年1月13日(月)午前9時から午後3時まで、 14日(火)午前9時から正午まで 持参
検査日	令和7年2月3日(月)	令和7年1月24日(金)
発表日	令和7年2月9日(日)	令和7年1月30日(木)

※海外帰国・在京外国人生徒枠で受検を検討される場合は、夏季休業中または9月～12月までの本校の指定する日に必ず事前相談をお受けください。具体的な日程は、ホームページをご覧ください。事前相談の予約は電話予約のみとなっています。(電話：042-524-3903)
一般枠募集、海外帰国・在京外国人生徒枠募集の検査の過去の問題(3年分)は、本校ホームページに掲載しています。



東京都立立川国際中等教育学校

〒190-0012 東京都立川市曙町3-29-37

TEL: 042 (524) 3903

URL: <https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>



表紙は板紙にリサイクルできます。
その他は印刷用の紙にリサイクルできます。

令和7年5月

編集・発行 東京都立立川国際中等教育学校